

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年 9月

(平成23年 8月末調査)

平成23年 9月26日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 7月】	諏訪公共職業安定所管内	0.72倍	+0.11ポイント	
手形交換高【 8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,139枚	△366枚	
	金 額	12,117百万円	△594百万円	
	うち不渡り	枚 数	0枚	±0枚
	発生状況	金 額	0千円	±0千円
電力使用量【 8月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	42,343 MWh	△12.7%	
	高压電力計	101,564 MWh	△7.6%	
	合 計	143,907 MWh	△9.2%	
車庫証明取扱件数【 8月】(諏訪地方合計)		803件	△28.7%	
新設住宅着工戸数【H23.4月～7月】(諏訪管内)		98戸	+24.1%	

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品関連の下請企業は夏休みなどによる稼働日数の減少から前月比の売上高は減少したが、受注状況は基調としては堅調に推移している。ただし、歴史的な円高水準が続いており、今後 親企業の海外調達比率の上昇が避けられないことから、自社の海外工場の一層の活用や他の産業分野への受注のシフトを探る企業も多くなっている。

工作機械などの産業設備では、アジア向けの需要は引き続き堅調なものの、円高の影響により日本から輸出する機種に割高感が出ており他国製品との競合が懸念されている。また、デジタル一眼レフカメラ関係は親会社により区々だか、受注状況は堅調な企業が多い。

地域製造業全体では、震災の影響は徐々に薄らいでおり足元の受注水準は比較的堅調な企業が多い。ただし、円高を背景として親企業や取引先企業が東南アジア等での現地調達率を上昇させることが見込まれており、その対応に苦慮している企業も多い。

●商業

諏訪地方の8月の天候は中旬頃まで晴れて気温が高くなった一方で、月の後半は曇りや雨の日が多くなった。また、今年は平年より約2週間も梅雨明けが早く、7月に猛暑日が続く夏季商材が早めに動いたことから、8月に入ると季節商品の動きは弱含んだ。

食料品では、気温の高かった月前半は飲料や果物、麺類などの動きが堅調であったが、気温の下がった後半には鍋物食材が求められるなど寒暖の差が激しく品揃えに苦慮した。家電販売では地上デジタル放送への移行が完了したことから薄型テレビの販売は落ち込み、気温の低下からエアコンなどの売れ行きも弱含んだ。また、諏訪地方の8月の車庫証明件数は803台とエコカー補助金終了前の駆け込み需要があった前年同月に比べ△28.7%減少となった。

●観光業

8月15日の第63回諏訪湖上花火大会は、東日本大震災の影響から春先には開催が危ぶまれたものの、被災地復興祈念大会として開催され例年並みの約50万人の見物客が集まった。

上諏訪温泉の8月の宿泊客数は、毎晩花火を打ち上げるサマーナイトファイヤーフェスティバルの定着や東北方面からの旅行地の振替などから、前年同月に比べ+10%程度増加したホテル旅館が多い。また、蓼科・白樺湖などの高原の観光地も、天候の崩れた月後半には幾分弱含んだものの、避暑客等の入り込みは好調で宿泊客数は前年に比べ+10~+30%程度の範囲で増加した。諏訪大社の参拝客数は約89千人と御柱年の昨年に比べ約+2千人、一昨年に比べては約+31千人増加しており、ドライブインなどからはNHK連続テレビ小説「おひさま」の効果もきかれる。

なお、秋の観光シーズンの予約状況は比較的堅調なものの、昨年は10月から「信州ディステーションキャンペーン」があり、前年比ではその反動を心配する声もきかれる。

●建設業

市町村の8月の発注工事は、建築工事16件102百万円、土木工事・下水道工事63件403百万円、その他工事8件104百万円の合計87件610百万円で、前年同月比で件数は+18件、契約金額は+146百万円の増加となった。県関係の8月の公共工事（地元業者受注分）は24件597百万円で、平成23年4月~8月の累計契約は61件1,338百万円と前年同期累計比で件数は△3件、契約金額は△584百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は98戸と前年同月比+19戸(+24.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」が△3戸の減少、「貸家」が+20戸の増加となっている。また、平成23年4月~7月までの累計着工戸数は351戸で前年同期に比べ+19戸(+5.7%)の増加となっている。

各市町村で実施している「住宅リフォーム補助金制度」の申請が好調で、予算枠の増額の動きがみられる。

●雇用

諏訪地域の7月の有効求人倍率は、前年同月を+0.11ポイント上回り0.72倍と前年同月を16ヶ月連続で上回るなど緩やかな改善傾向ではあるが、依然として低水準での推移となっている。また、全国の同倍率は0.64倍、長野県の同倍率は0.76倍となっている。

諏訪地域の7月の新規求人（全数）は1,337人で前年同月比+243人(+22.2%)の増加、新規求職者数は1,008人で前年同月比+19人(+1.9%)の増加となっている。業種別の新規求人は、飲食店・宿泊業を除くほとんどの産業で増加しており、なかでも運輸業、派遣業で大幅な増加となった。

なお、7月の1件10人以上の人員整理は1件13人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は79人で前年同月に比べ△12人減少したが、前月より+22人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	足元の受注は幾分弱含んでおり、円高の影響が危惧される。
プリンター	下請企業の受注は弱含み感がきかれる。
コンタクター・リレー	工場向けの電源切換器等の受注が引き続き旺盛である。

2. 輸送用機械

自動車	今後 親企業の東南アジア等での現地調達率の上昇は避けられないことから、自社の海外工場の一層の活用や他の産業分野への受注のシフトを探っている企業が多くなっている。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の足元の受注は安定しており、国内メーカーの増産に伴い年度内の見通しも堅調である。
船外機	新興国向け機種を受注が好調で、高水準の生産状況となっている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジア向けの需要は引き続き堅調なもの、円高の影響により日本から輸出に割高感が出ており他国製品との競合が懸念されている。
搬送用機械	各業種向けとも安定した受注水準となっており、海外工場向けも増加傾向である。
金型	受注状況は企業により増減区々となっている。
ダイカスト	自動車関連向けは回復傾向であるが、今後の海外シフトを心配する声もきかれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの7月の生産台数は1,010万台で前月比△2.7%減少、前年同月比+15.2%増加となっている。7月の出荷台数は国内出荷79万台、海外出荷907万台の合計986万台で出荷台数全体では前月比△1.7%減少、前年同月比+14.0%増加となっている。デジタル一眼レフカメラ関係は親会社により区々だが、受注状況は堅調な企業が多い。
レンズ	在庫確保のために発注量を増やしている企業があり、高水準の生産状況がきかれる。レアアース問題から研磨剤の高騰は続いている。

5. 織 維

ニット

秋物の量産の時期であるが、原材料価格の値上がりがきかれる。

6. 食 品

寒天

寒天の効能等がテレビ放映されたため、首都圏のスーパー向けの荷動きが堅調となった。

味噌

需要の減少期であり、出荷は平年並みである。

7. 製 材

諏訪地方の8月の木造住宅着工戸数は82戸で、前年同月に比べ+18戸の増加となった。震災後の建材等の品薄状態は改善されてきている。

8. 建 設

公共工事

8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所13件、施設課関係1件、林道治山工事関係4件、農地整備課5件、その他1件の合計24件、契約金額597百万円となった。また、平成23年4月～8月の累計契約は61件1,338百万円と前年同期累計比で件数は△3件、契約金額は△584百万円の減少となった。

市町村の8月の発注工事は、建築工事16件102百万円、土木工事・下水道工事63件403百万円、その他工事8件104百万円の合計87件610百万円で、前年同月比で件数は+18件、契約金額は+146百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は98戸で前年同月比では+19戸(+24.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は△3戸減少の74戸、「貸家」は+20戸増加の20戸、「給与」は+1戸増加の1戸、「分譲」は+1戸増加の3戸となった。平成23年4月～7月の年度累計は351戸で前年同期累計に比べ+19戸(+5.7%)と小幅ではあるが前年を上回った。

また、長野県内の7月の新設住宅着工戸数は1,013戸で、前年同月比△2.7%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が718戸で△3.4%減少、「貸家」が221戸で+18.2%増加、「分譲」が73戸で△27.0%減少となった。

各市町村で実施している「住宅リフォーム補助金制度」の申請が好調で、予算枠の増額の動きがみられる。

9. 商 業

諏訪地方の8月の天候は中旬頃まで晴れて気温が高くなった一方で、月の後半は曇りや雨の日が多くなった。また、今年は平年より約2週間も梅雨明けが早く、7月に猛暑日が続く夏季商材が早めに動いたことから、8月に入ると季節商品の動きは弱含んだ。

春先には東日本大震災の影響による買いだめ、夏前には防災や節電用品の特需等がみられたが、足元の消費行動は落ち着きを取り戻している。

衣料	節電への取り組みでクールビズの前倒しがあったことや7月の猛暑で夏物衣料が早めに動いたことから、8月の衣料品の動きは弱含んだ。
食料品	気温が高かった月前半は飲料や麺類等が動き、気温が低下した後半には鍋物食材が求められるなど寒暖の差が激しく品揃えに苦慮した。
家電製品	地上デジタル放送への移行が完了したことから薄型テレビの販売は落ち込み、気温の低下からエアコンなどの売れ行きも弱含んだ。
自動車	諏訪地方の8月の車庫証明件数（軽自動車除く）は803台とエコカー補助金終了前の駆け込み需要があった前年同月に比べると△324台（△28.7%）の大幅な減少となった。
ホームセンター	節電や防災用品の売れ行きは落ち着き、月の後半の気温の低下から清涼グッズの動きも弱含んだ。

10. 観 光

8月15日の第63回諏訪湖上花火大会は、東日本大震災の影響から春先には開催が危ぶまれたものの、被災地復興祈念大会として開催され例年並みの約50万人の見物客が集まった。

例年よりも避暑客等の入り込みが好調で、震災の影響による旅行地の振替に加え、ドライブインなどからはNHK連続テレビ小説「おひさま」の効果もきかれる。

なお、秋の観光シーズンの予約状況は比較的堅調なもの、昨年は10月から「信州ディステーションキャンペーン」があり、前年比ではその反動も心配される。

上諏訪温泉	8月の宿泊者数はサマーナイトファイヤーフェスティバルの定着や東北方面からの旅行地の振替などから、前年同月に比べ+10%程度増加したホテル旅館が多い。
蓼科・白樺湖・車山	天候の崩れた月後半には幾分弱含んだものの、避暑客等の入り込みは好調で宿泊客数は前年に比べ+10～+30%程度の範囲で増加した。
下諏訪温泉	学生の合宿に加え、個人客が堅調で前年同月比の宿泊客数が増加した施設があるものの、多くの施設で客単価の低下がきかれる。
諏訪大社	上社・下社合わせた8月の参拝者数は約89千人と御柱年の昨年に比べ約+2千人、一昨年に比べては約+31千人増加した。